

発 言 通 告 書

発言者氏名	藤野英明
発言の会議	令和6年 2月28日 本会議
発言の種類	質 疑、一般質問、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、一問一答
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

- 1 横須賀市独自の不妊治療に対する医療費助成（生殖補助医療費助成制度）を今後も継続していく必要性について
 - (1) 神奈川県が新設を予定している不妊治療費助成制度が導入された場合も、本市独自の助成制度を継続していく方針でよろしいか。
 - (2) 神奈川県による新たな助成制度が導入された場合には、そのスキームを有効に活用して財源を確保していただきたいが、いかがか。

- 2 AYA 世代のがんなどの患者の方々が妊孕性温存治療・温存後生殖補助医療をさらに利用しやすくするための本市独自制度を新設する必要性について

- 3 ひきこもりに関する本市の根本的な受け止め方と切実に必要とされる取組について

- (1) 市長はひきこもりという行為をどのように受け止めておられるか。
- (2) 過去の参加実績が少ない e スポーツや県においても成功しているとは言えないメタバースの体験会が、本当に本市のひきこもり当事者の方々にとって今最優先の取組と市長はお考えか。
- (3) 来年度はひきこもり支援連携協議会の開催回数を増やし、当事者の方を年齢や属性で分けた部会を設けて集中的な議論を行い、本市のひきこもり支援の基本的な考え方を明確に共有し、当事者の方々に今本当に必要な取組をゼロベースで議論すべきではないか。

4 市立総合医療センターへの交通アクセス向上のために、バス事業者に対して新バス路線開設の要望を継続し、実現に向けた支援を行う必要性について